

報道機関のお問い合わせ先：

山下 絢子 +81 3-5511-7572 または ayako.yamashita@morningstar.com

ステファニー・ホー +852 2973 4655 または stephanie.ho@morningstar.com

即日発表**米国モーニングスターが将来に関するファンドレーティングを改良**

2019年7月9日 **東京発** – 独立系大手投資調査会社の米国モーニングスター（Morningstar, Inc.、NASDAQ: MORN）は、将来に関する2種類のファンドレーティングシステム、Morningstar Analyst Rating™ for funds（以下、アナリストレーティング）と Morningstar Quantitative Rating™ for funds（以下、定量レーティング）の改良を発表しました。改良されたレーティングは最新の評価フレームワークに基づくもので、2019年10月31日から適用されます。

アナリストレーティングは、ファンドアナリストによる将来に関するレーティングシステムで、ゴールド、シルバー、ブロンズ、ニュートラル、ネガティブという段階でファンドを評価します。この5段階の評価と評価の利用方法に変更はありませんが、米国モーニングスターはファンドアナリストが評価に用いるメソドロジーを変更し、ファンドがゴールド、シルバーあるいはブロンズのレーティングを付与する基準を引き上げ、またファンドの運用費用をより重視した評価とします。今回の改良により、アナリストレーティングはファンドのシェアクラスごとの運用費用の違いが考慮され、シェアクラスごとにアナリストレーティングは調整されます。アナリストレーティングのメソドロジー見直しに伴い、定量レーティングも同時に見直します。定量レーティングは、機械学習技術を用いて、米国モーニングスターのファンドアナリストの評価対象外のファンドに対し、将来に関する

レーティングを付与するものです。この改良によって、定量レーティングは引き続きアナリストレーティングと強い連動が確保されます。

米国モーニングスターのグローバルマネージャーリサーチ部門責任者であるジェフリー・ブタークは、次のように述べています。「以前から、アナリストレーティングと定量レーティングが、投資家の皆様のリサーチに活用されていることをうれしく思っています。皆様のご支持を踏まえ、投資家の皆様にさらに有効かつ有益なものとなるよう、このたびレーティング・メソドロジーに変更を加えました。今回の改良によってゴールド、シルバーあるいはブロンズのレーティングを付与する基準を引き上げ、またファンドの費用が評価に与える影響を高めました。」

今回の改良のポイント

- **フレームワークの簡素化：** 既存の評価フレームワークは、運用担当者（People）、運用プロセス（Process）、運用会社（Parent）、運用実績（Performance）、運用費用（Price）という5つの要素（すなわち「評価軸（Pillar）」）を中心とします。新しいフレームワークでは、アナリストがこのうち運用担当者、運用プロセス、運用会社の3つの評価軸を評価します。アナリストはその評価を用いて、ある戦略が運用費用控除前の段階でどれだけ付加価値をもたらすことができるかを推定します。運用実績と運用費用は単独の評価軸ではなくなりました。アナリストが運用実績の評価を他の評価軸に組み込み、運用費用については別の形で評価します。
- **運用費用を一段と重視：** 既存の評価では、ある戦略の類似戦略グループ内における運用費用の順位が運用費用の評価軸のレーティングに影響を及ぼし、これが全体的なアナリストレーティングに組み込まれます。新しい評価方法では、アナリストが運用担当者、運用プロセス、運用会社の評価軸について評価をし、運用費用控除前の付加価値を推定した後に、戦略にかかる運用費用を控除します。このアプローチは、ファンドの運用費用控除前の付加価値に対するコストを評価できるという利点があり、投資家が運用費用控除後でどれだけの価値が得られるかと

いう究極的な問題について把握することができます。また、運用費用の評価を他の3つの評価軸に関するアナリストのリサーチと同じレベルで捉え、運用費用に相当のウェイトを置くこととします。

- **アクティブ戦略について基準を引き上げ**：アクティブ戦略の場合、関連するベンチマーク、および運用費用差引・リスク調整後ベースの同種商品グループの平均を上回りうるものだけに限り、ファンドアナリストは、メダリストレーティング（ゴールド、シルバー、ブロンズ）を付与します。過去においては、同種商品（同一カテゴリ内）の平均かインデックスのいずれか片方のみを上回りうるアクティブ戦略に対して、メダリストレーティングが付与されたことがあります。
- **投資家にとってより明瞭なロードマップ**：ファンドアナリストは、分析によってアクティブ投資に対するアクティブリターンが少ないと考えられる分野のアクティブ戦略についてはメダリストレーティングの付与を減らします。運用費用差引・リスク調整後のアクティブリターンを見積もることによって、アクティブ投資が奏功することが期待できるカテゴリと、インデックス投資のほうが総じて良い結果が期待できるカテゴリの違いを見出すことが期待できます。
- **シェアクラスに合わせた調整**：現在、ファンドアナリストは、ファンドの代表的なシェアクラスを評価し、その後、当該レーティングを他のすべてのシェアクラスに適用しています。変更後のメソドロジーでは、運用費用の差異を考慮に入れた上でそれぞれのシェアクラスの評価を行います。運用費用および販売手数料をシェアクラスごとに考慮することで、費用負担が重くなっているシェアクラスについてはレーティングが引き下げられる場合があります。
- **評価軸に対するレーティングの改良**：ファンドアナリストが運用担当者、運用プロセス、運用会社の評価に用いる尺度は改良されます。現在、アナリストはこれらの評価軸を「ポジティブ（positive）」、「ニュートラル（neutral）」、「ネガティブ（negative）」で評価しています。レーティング改良後は、「高（high）」、

「平均以上（above-average）」、「平均（average）」、「平均以下（below average）」、「低（low）」という尺度でレーティングを付与します。

レーティングの改良は 2019 年 10 月 31 日から適用されます。同日、米国モーニングスターは新たなメソドロジーに基づき付与された最初のアナリストレーティングを公表し、その後 12 カ月かけて徐々に更新します。定量レーティングは、2019 年 10 月 31 日付ですべて更新されます。更新後のメソドロジーは [こちら](#)、現在のメソドロジーは [こちら](#) でご覧いただけます：[モーニングスターの Signature Research & Methodology](#)。

レーティングの改良に関する追加情報は [Morningstar.com](#) を参照してください。米国モーニングスターのファンドレーティングと、投資家のファンド評価にあたっての使用法に関する共有可能な解説図表は [こちら](#) を参照してください。

米国モーニングスターでは、レーティングシステムを継続的に評価し、投資家のニーズに合わせ、その成功を後押し可能とするために開発を続けています。米国モーニングスターは近々、サステナビリティレーティングのメソドロジーの変更も行う予定で、投資家はポートフォリオの絶対的な ESG リスクを評価することで、より充実した情報に基づいた投資判断が可能となります。詳細は [モーニングスターブログ](#) でご覧いただけます。

ファンドのアナリストレーティング、定量レーティング、サステナビリティレーティングを含む豊富なデータと分析を掲載した詳細な調査レポートであるモーニングスターのグローバルファンドレポートは、当社のウェブベースの機関投資家向けグローバル投資分析プラットフォームである Morningstar Direct™ でご利用いただけます。

Morningstar Analyst Rating™ for funds (モーニングスター・ファンド・アナリストレーティング)

モーニングスター・ファンド・アナリストレーティングは 2011 年から公表されており、ファンドに対するモーニングスターの将来に関する分析をまとめて示すものです。アナリストレーティングは、ゴールドからネガティブまでの 5 段階の尺度をグローバルに付与しています。上位 3 段階のレーティング（ゴールド、シルバー、ブロンズ）は、いずれもア

ナリストがそのファンドを高く評価していることを示します。これらの差は、ファンドが所与のリスク水準においてベンチマークや同種のファンドを長期にわたってアウトパフォームする能力に対するアナリストの確信度合いの違いを表しています。アナリストレーティングは所与の資産クラスや商品グループに対する見解を表明するものでなく、各ファンドの運用目的、適切なベンチマーク、同一カテゴリ内での比較により評価を行うことを目指します。

Morningstar Quantitative Rating™ for funds (モーニングスター定量ファンドレーティング)

ファンドアナリストがカバーするファンドの数を拡大するため、米国モーニングスターは2017年にモーニングスター定量ファンドレーティングを開発しました。これは、機械学習モデルを使用し、米国モーニングスターのアナリストの意思決定プロセス、過去のレーティングの判断、これらの判断をサポートするために用いられるデータを模倣するものです。その後、機械学習モデルを「カバーされていない」ファンドのユニバースに適用し、仮にアナリストが当該ファンドをカバーしていた場合に付与されるであろうレーティングに類似した定量レーティングを作成します。この定量アプローチによって、米国モーニングスターはグローバル市場において約6倍のファンドを評価することができます。

米国モーニングスターについて

モーニングスターは独立系大手投資調査会社で、北米、欧州、オーストラリア、アジアの27カ国で拠点を展開しています。同社は、個人投資家、ファイナンシャル・アドバイザー、機関投資家の皆様に対してさまざまなプロダクトやサービスを提供しています。同社が提供している金融商品のデータは株式、投資信託およびその他の投資関連商品や指数を網羅しており、加えてリアルタイム配信する世界各国の市場データとして、外国為替や米国債市場のほか、株式、指数、先物、オプション、コモディティ、貴金属などの系列を有しています。また、投資顧問登録を持つ傘下の子会社を通じて、資産運用ソリューションも提供しており、2019年3月31日現在の助言・運用残高は2,100億ドル以上です。

モーニングスターの *Manager Research Group* は、*Morningstar Research Services LLC* など *Morningstar, Inc.* のさまざまな完全子会社により構成されています。アナリストレーティングは本質的に主観的なもので、これのみを投資判断の基礎とすべきではありません。アナリストレーティングは、将来の事象に対するモーニングスターの *Manager Research Group* の現在の予想に基づいているため、そうした予想が実現しない、あるいは現実と予想に大きな差が生じる未知のリスクや不確実性を含みます。アナリストレーティングは保証ではなく、ファンドまたはセパレート・マネージド・アカウントの原証券の信用度評価と見なされるべきでもありません。本プレスリリースは情報提供のみを目的とするものです。本プレスリリースで言及している証券やセパレート・マネージド・アカウント投資戦略は、有価証券の購入または売却、あるいはこの戦略に従った投資の募集または勧誘と見なされるべきではありません。

###

©2019 Morningstar, Inc. All Rights Reserved.

MORN-R